誓約書兼同意書

申請書提出日を記入

〇〇年〇〇月〇〇日

いわき市長 様

押印をお願いします
(認印可)

住所 **いわき市平字梅本21番地**
申請者 氏名 **梅本 太郎** ⑨
電話番号 **〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇**

全ての項目に該当する方が本申請の対象者となります

申請者支援補助金の交付を申請するに当たり、次のとおり誓約又は同意

注意 □のある欄は、該当する箇所に✓印を付けてください。

☒	私は、一般社団法人福島県猟友会平支部、磐城支部又は勿来支部のいずれかに入会します（又は既に会員です）。
☒	私は、いわき市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団員又は社会的非難関係者（以下「暴力団員等」という。）ではありません。
☒	私は、いわき市の市税を滞納していません。
☒	私は、いわき市及び福島県から、この申請と同種の補助金の交付を受けていません。
☒	私は、いわき市が、この申請に係る内容の確認のため、関係機関に照会するなど必要な調査を行うことに同意します。
☒	私は、この申請に係る一切の情報について、福島県知事への情報提供（狩猟技術向上等支援事業県補助金の実績報告に係る事務手続きのため）に同意いたします。
☒	私は、偽りその他不正な手段により補助金の交付を受けたとき又は補助金の受給後に交付要件に該当しないことが判明したときは、補助金を市に返還します。

備考 社会的非難関係者とは、次に掲げる者をいう。（いわき市暴力団排除条例第2条第7号参照）

- ア 正当な理由がなく暴力団の活動又は暴力団の活動を助長する活動に参加し、関与し、又は協力した者
- イ 暴力団員が役員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第9条第21号ロに規定する役員をいう。）となっている事業者又は暴力団員により実質的にその運営を支配されている事業者
- ウ 自己若しくは特定の者の利益を図る目的又は特定の者に損害を与える目的をもって、暴力団の威力を利用した者
- エ 法令上の義務としてする場合、情を知らないでする場合その他の正当な理由がある場合を除き、暴力団又は暴力団員に対して金品その他財産上の利益の供与（結婚式における祝儀又は香典若しくは供花にあつては、社会通念上儀礼の範囲内におけるものを除く。）をした者